

農林漁業現地事例情報「農林水産分野におけるIT活用取組事例」

基本項目

分類	① 生産管理等におけるIT化の取組
取組名	携帯電話を利用した乳用牛の繁殖管理
取組主体	北原電牧株式会社 (北海道・札幌市)

取組の概要

IT導入の必要性、導入に至った経緯	<p>乳牛の飼養管理プログラム「ふりーすらんど」は、乳量・繁殖・疾病等のデータを入力することによって分娩後の変化を見たり、変化の兆候をつかみ酪農経営に反映させることができるソフトであるが、データを自宅のパソコンに入力しなければならず、煩雑さが欠点としてあげられていた。</p> <p>北原電牧株式会社では、牛舎で牛を目の前で観察しながらデータを入力することで、利便性の向上を図るため、試験運用の段階であるが携帯電話でのデータ入力の導入を行った。</p>
IT利用により期待される効果・目標	<p>多頭化が進展しているなか、乳牛の飼養データの分析が酪農経営においても重要となっているが、乳牛を観察しながらリアルタイムで携帯電話からデータを入力することで、より正確で詳細なデータを利用することができる。</p>
IT活用の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・牛舎でデータ入力を行い、該当する牛番号を送信すると自宅のパソコンの「ふりーすらんど」のデータが更新される。 ・自宅の「ふりーすらんど」のデータから算出し、以降、3日間の繁殖予定牛の種付、妊娠鑑定日、乾乳日、分娩予定日を携帯電話で見ることができる。 ・受精の日付、発情状態、種牛名等の詳細情報も入力可能。
IT利用者の範囲	生産者

取組の効果

効果のあった点	データ入力効率化が図られた。
効果の割合	導入直前との比較：10%（減少）

ITに関する課題と今後の展開

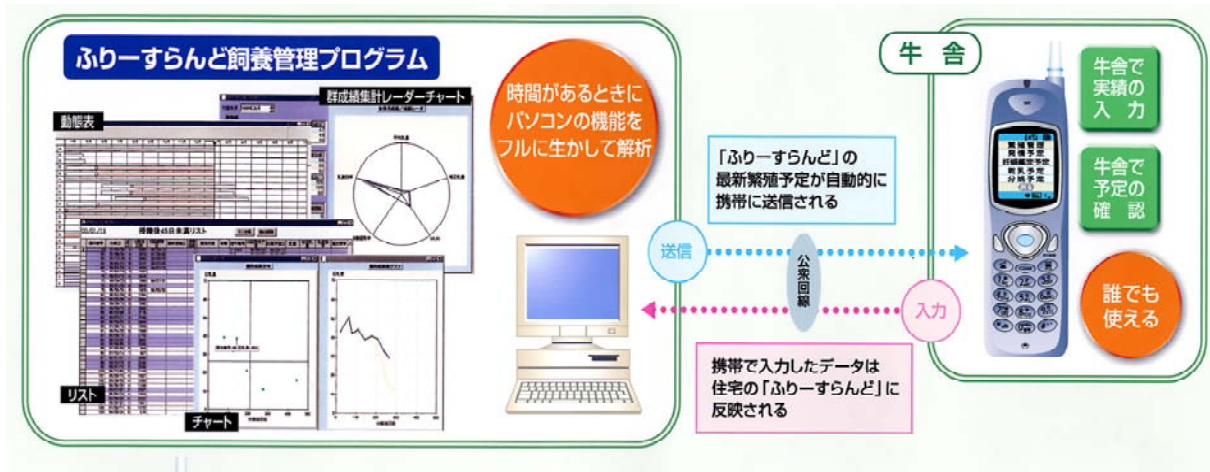
導入したシステムに関する課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> ・使用できる機種はiモード（ドコモ）とauに限定。 ・現在は繁殖管理にだけ対応。
ITに関する今後の取組・展開方向	<ul style="list-style-type: none"> ・繁殖管理データだけではなく、病気等のデータも入力・管理できるように改良を行う。

利用者、（システム）構築業者の感想（声）

<ul style="list-style-type: none"> ・牛舎での作業中でもデータの書き込みが可能となり、繁殖管理にデータを有効に反映させることができた。 ・牛を目の前で見ながら、発情の様子等をパソコンのデータベースに入力でき、多頭化により減っていた観察時間を確保できるようになった。

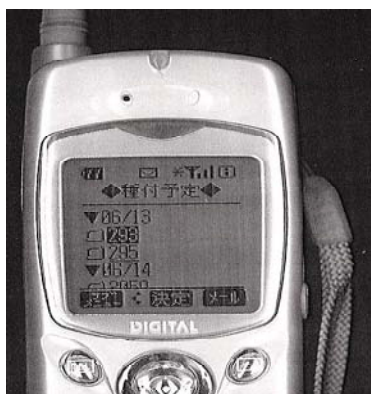
取組主体の概要

設立年次	昭和25年
構成員	45人
経営規模	所有施設：本社社屋、千歳工場（敷地面積13,000㎡）、営業所等3カ所
主な活動内容	電気柵、酪農用品、自動給餌機等製造販売。



システムの概要図

自宅の「ふりーすらんど」にデータが入力されるので、冬期間にパソコンで動態表やチャート、集計等で解析が可能。



iモードによる表示・入力
受精の日付や発情の状態、性別等の詳細情報も入力可能。

情報収集官署名：北海道農政事務所 札幌統計・情報センター

連絡先：011-241-4487